


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成24年11月27日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
小田原市新エネルギー普及プロジェクト～燃料地産地消～						
GHG 検証機関						
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	SGS ジャパン株式会社					
担当部署名	認証サービス事業部 サステナビリティサービス部					
責任者名	マネジャー 西 利道					
責任者 E-mail	Toshimichi.nishi@sgs.com					
責任者電話番号	045-330-5021					
審査員名 ⁱ	野原 浩樹(チームリーダー) 西 利道(レビュー担当者)					
機関要件への合致	妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、妥当性確認・検証機関としての登録を受けている(E001～E028 分野)					
検証結果						
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.2.2					
事業者との契約日	2012年10月3日					
モニタリング報告書受領日 ⁱⁱ	2012年10月31日					
検証報告書発行日	2012年11月27日					
現地審査	期間	2012年11月13日				
	審査内容	① モニタリング報告書(含別紙)の現場検証前のレビュー、及び妥当性確認時のプロジェクト計画書、モニタリングプラン内容との整合性確認。 ② 現場におけるサイトツアー(全モニタリングポイントの確認)、設備の稼働運用状況、及び各モニタリングポイントでの実績を確認できる伝票やその他資料の確認。 ③ モニタリング体制や、QA/QCの状況等(含説明資料など)の確認。				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2				9	6

<p>検証結果の要約</p>	<p>SGS ジャパン株式会社は、「小田原市新エネルギー普及プロジェクト～燃料地産地消～」を対象としたモニタリング期間（2011年7月1日～2012年9月30日）における、GHG 排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、「オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく温室効果ガス排出削減・プロジェクトモニタリング報告書 Ver.1.3、及びモニタリング報告書（別紙）Ver.1.3に記載された二酸化炭素排出削減量15 t-CO2は、「オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書Ver.1.1」及び別紙モニタリング計画書Ver.1.1に基づいて算定されていることが確認された。</p> <p>また、検証の過程で誤りは適切に訂正されており、重要性の判断基準の5%未満であった。また、当該プロジェクトは、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン（排出削減プロジェクト用）、排出削減方法論（SS-E004）に依拠して作成されており、全ての重要な点において適正であると認める。</p>
----------------	---

- i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。
- ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。